

2022年5月期 決算説明

1. 2022年5月期 ハイライト

2022年5月期 決算概要

●売上高

- ・国内外での生産活動・需要の回復基調を背景に増収
- ・自動車、民生、産業機器、アミューズメントの各分野で増収
- ・売上高は過去最高を更新

●営業利益・経常利益・当期純利益

- ・売上高の増加による売上総利益額の増加、経費抑制、効率化策の継続も寄与し増収
- ・各利益は過去最高を更新

●株主還元

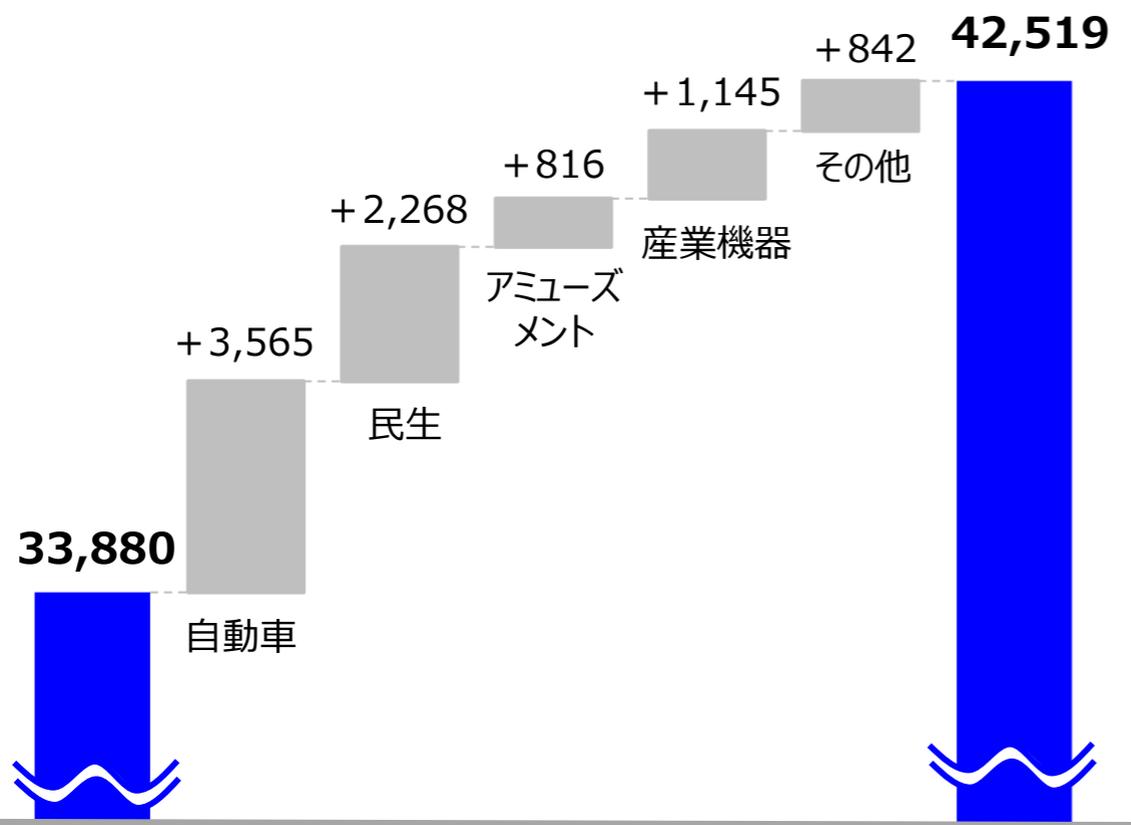
- ・期末配当は25円（予定）
- ・2022年5月期の年間配当は、前期比20円増配となる1株当たり40円で過去最高を更新

2. 2022年5月期 決算概要

売上高

(単位：百万円)

(単位：百万円)



	2021年5月期		2022年5月期		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	33,880		42,519		+8,638	+25.5%
売上総利益	3,202	9.5%	4,496	10.6%	+1,293	+40.4%
販管費及び一般管理費	2,278	6.7%	2,477	5.8%	+199	+8.7%
営業利益	924	2.7%	2,018	4.7%	+1,093	+118.3%
経常利益	1,000	3.0%	2,134	5.0%	+1,133	+113.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	665	2.0%	1,465	3.4%	+799	+120.3%

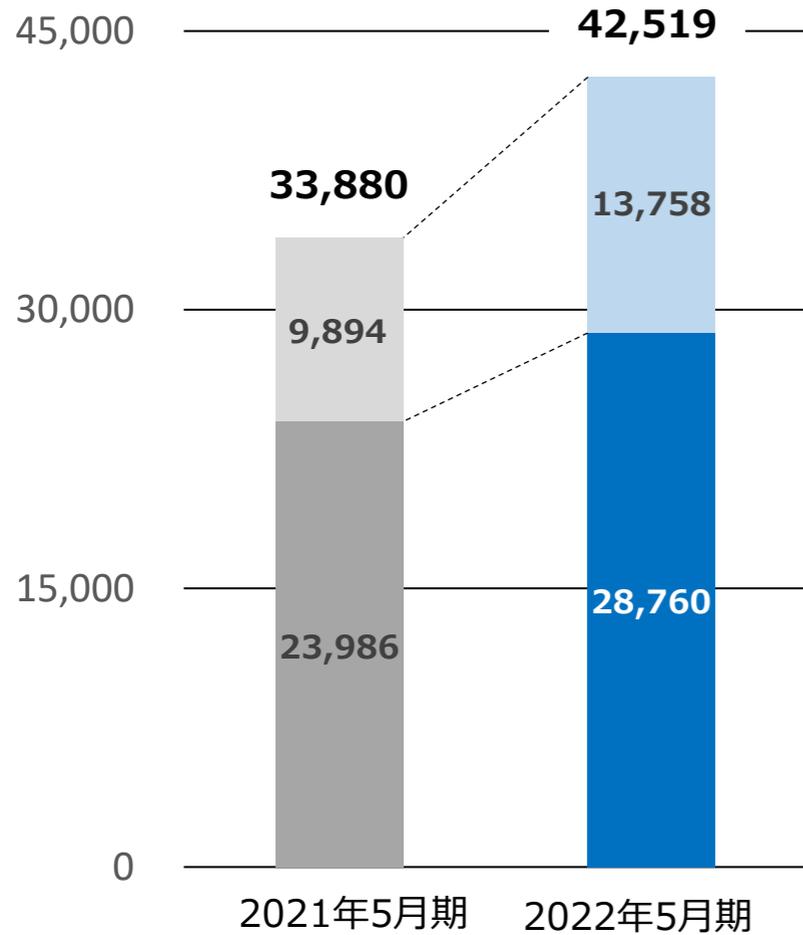
3. 2022年5月期 決算概要

	2021年5月期 決算実績	2022年5月期 決算実績	前期比 増減
1株当たり当期純利益	84.14円	184.86円	+100.72円
自己資本当期純利益率	6.9%	13.6%	+6.7%
総資産経常利益率	6.5%	11.6%	+5.1%
売上高営業利益率	2.7%	4.7%	+2.0%
総資産	16,622百万円	20,210百万円	+3,587百万円
純資産	9,971百万円	11,631百万円	+1,660百万円
自己資本比率	59.9%	57.5%	△2.4%
1株当たり純資産	1,259.65円	1,463.32円	+203.67円

4. セグメント売上高・利益

売上高

(単位：百万円)

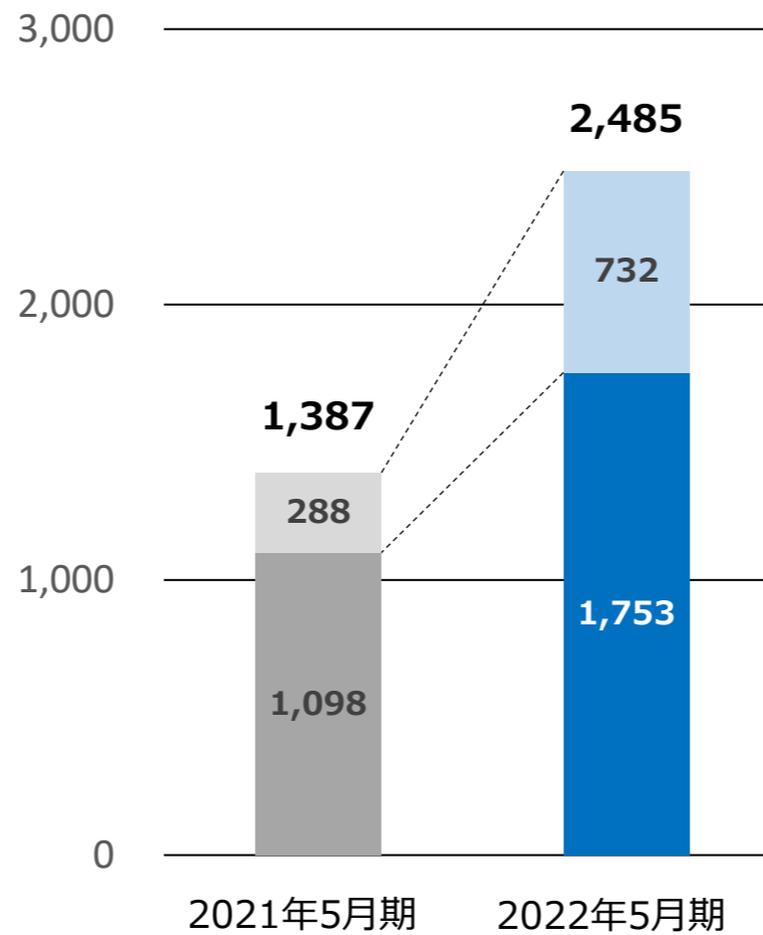


売上・海外

 売上・国内

利益

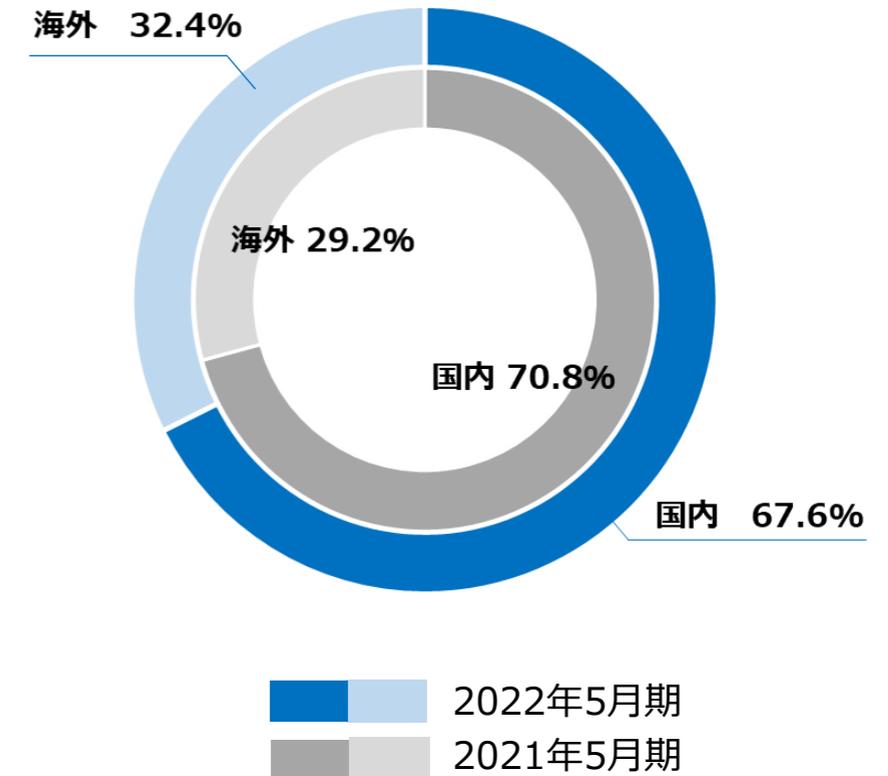
(単位：百万円)



粗利・海外

 粗利・国内

売上高 構成比率

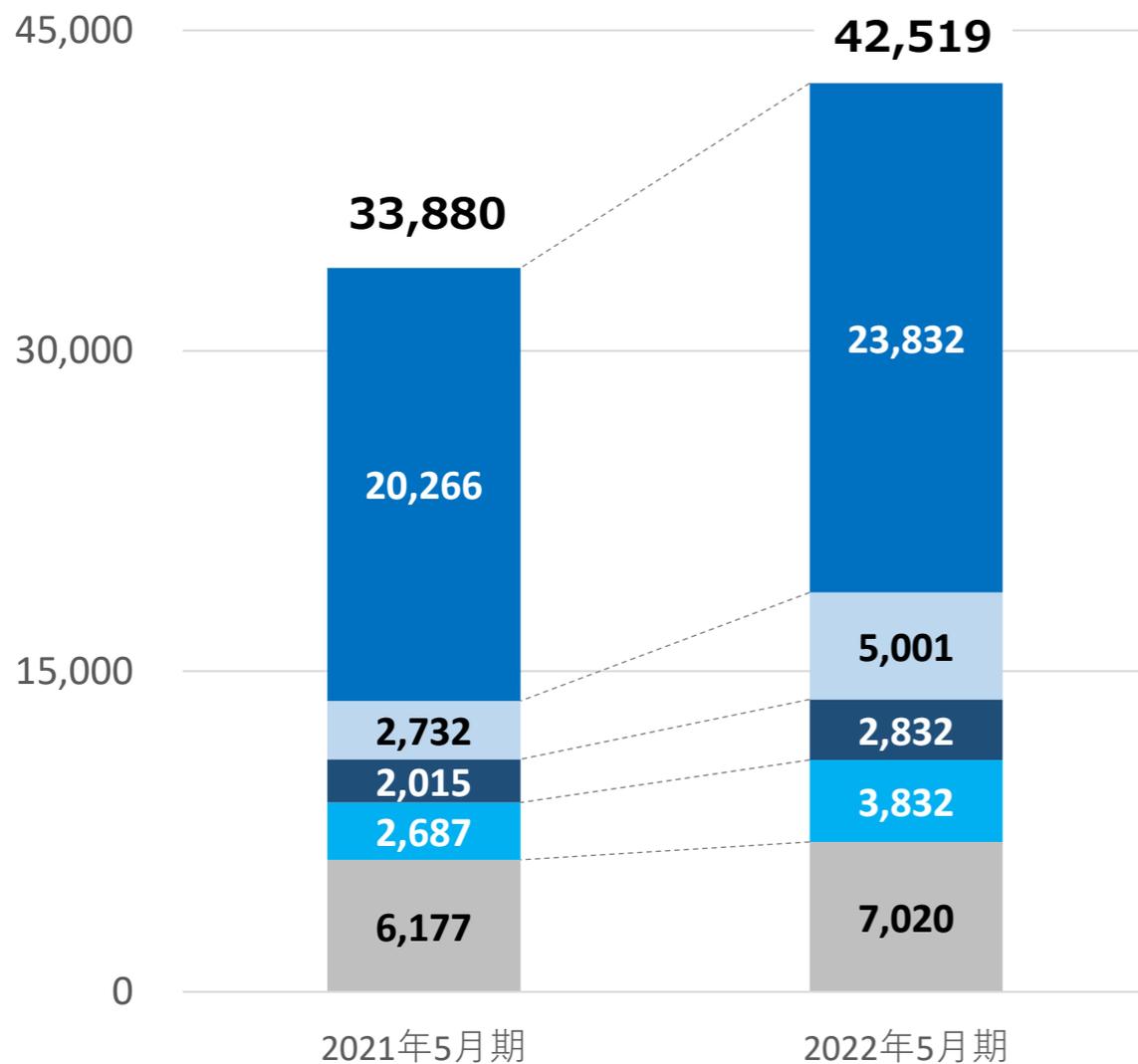


2022年5月期

 2021年5月期

5. 2022年5月期（参考）分野別売上高

(単位：百万円)

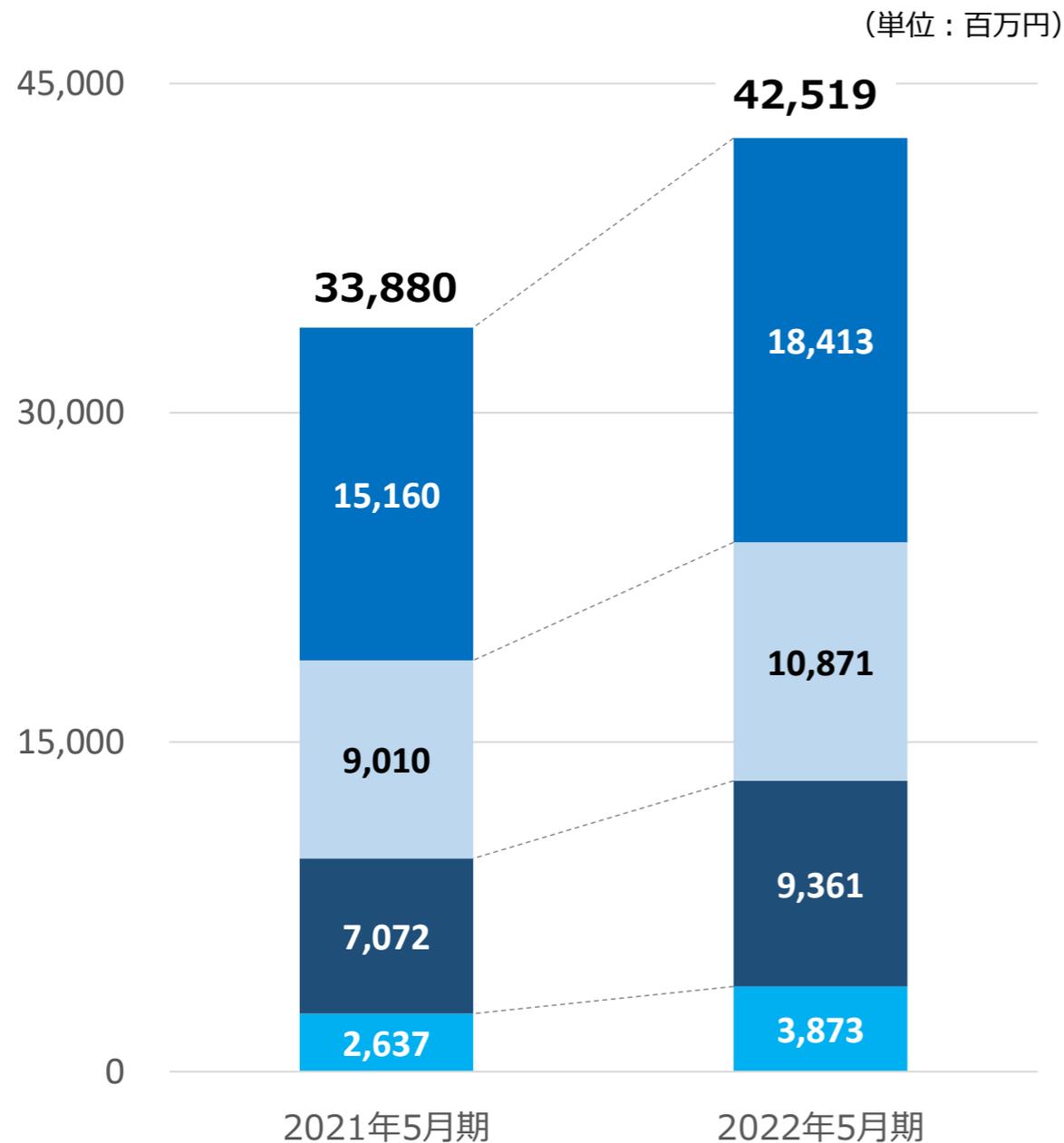


(単位：百万円)

	2021年5月期		2022年5月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
自動車	20,266	59.8%	23,832	56.1%	17.6%
民生	2,732	8.1%	5,001	11.8%	83.0%
アミューズメント	2,015	5.9%	2,832	6.7%	40.5%
産業機器	2,687	7.9%	3,832	9.0%	42.6%
その他	6,177	18.2%	7,020	16.5%	13.6%
合計	33,880	100.0%	42,519	100.0%	25.5%

■ 自動車 ■ 民生 ■ アミューズメント ■ 産業機器 ■ その他

6. 2022年5月期（参考）品目別売上高



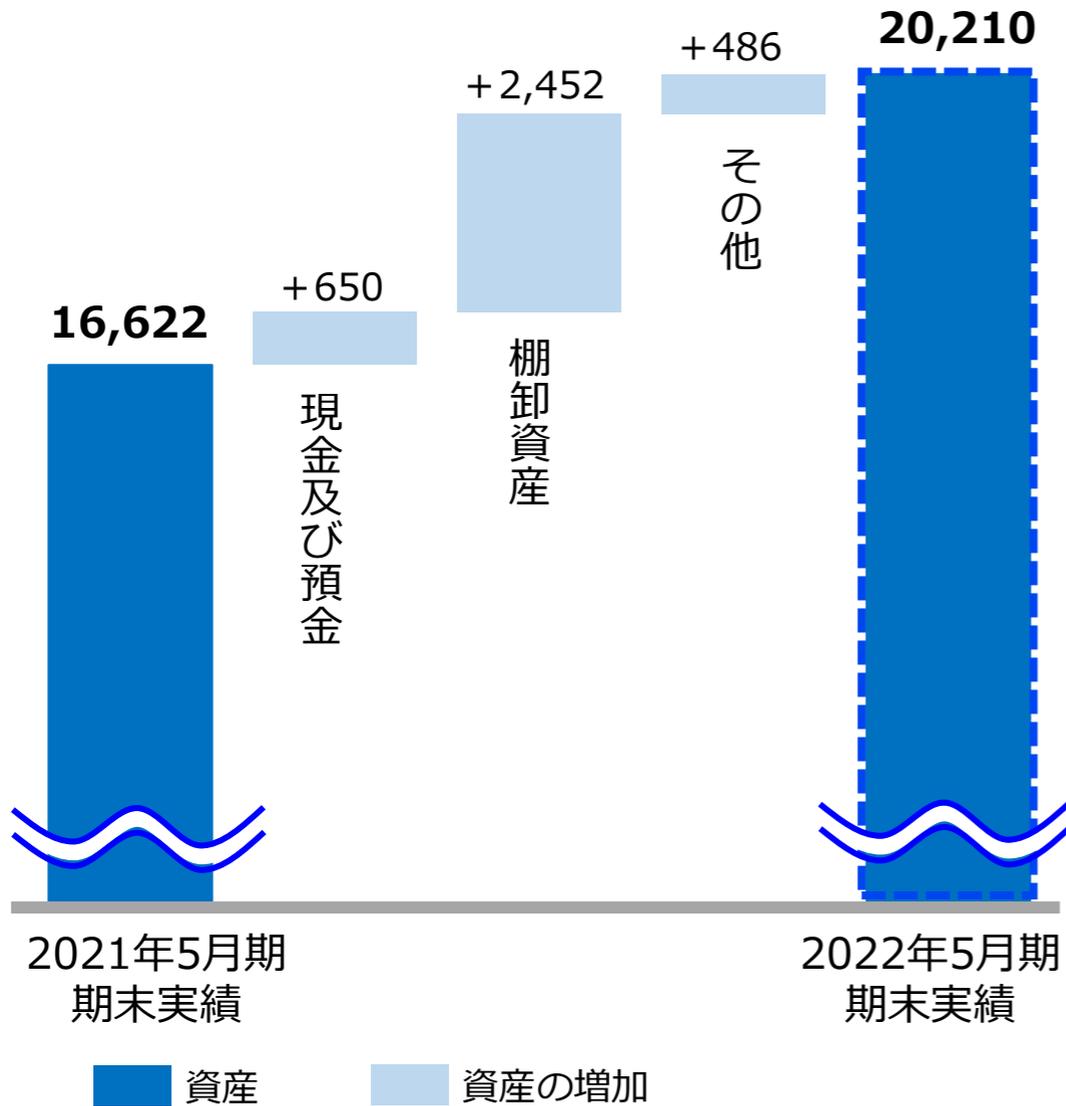
(単位：百万円)

	2021年5月期		2022年5月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
半導体	15,160	44.7%	18,413	43.3%	21.5%
電子部品	9,010	26.6%	10,871	25.6%	20.7%
ユニット・アセンブリ	7,072	20.9%	9,361	22.0%	32.4%
その他	2,637	7.8%	3,873	9.1%	46.9%
合計	33,880	100.0%	42,519	100.0%	25.5%

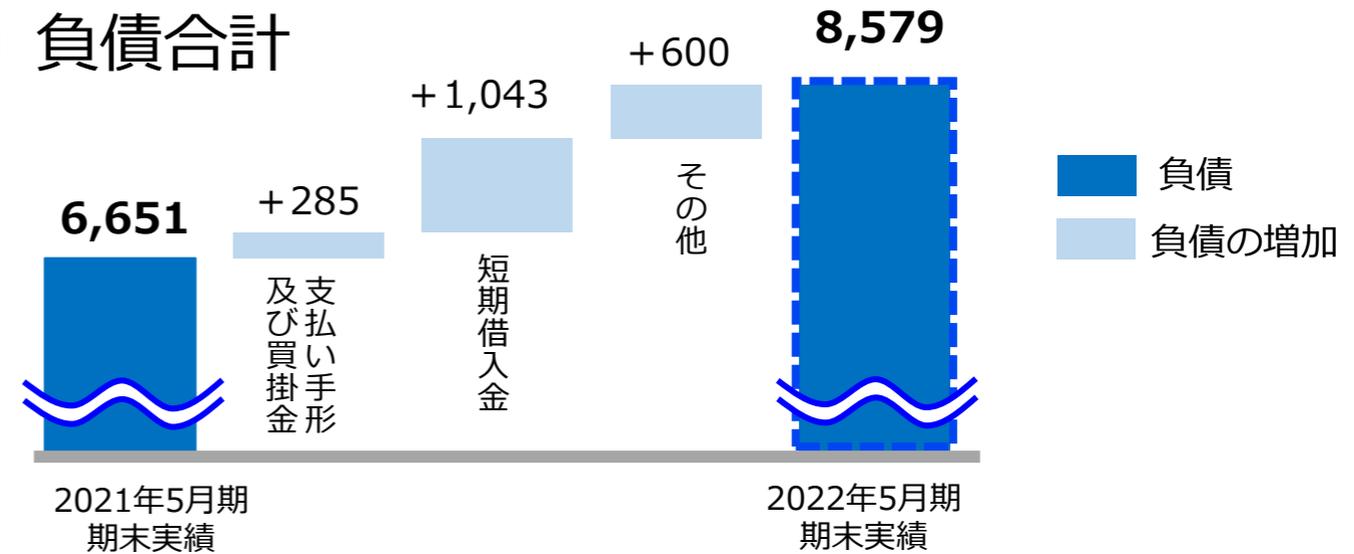
7. 2022年5月期 貸借対照表の概要

(単位：百万円)

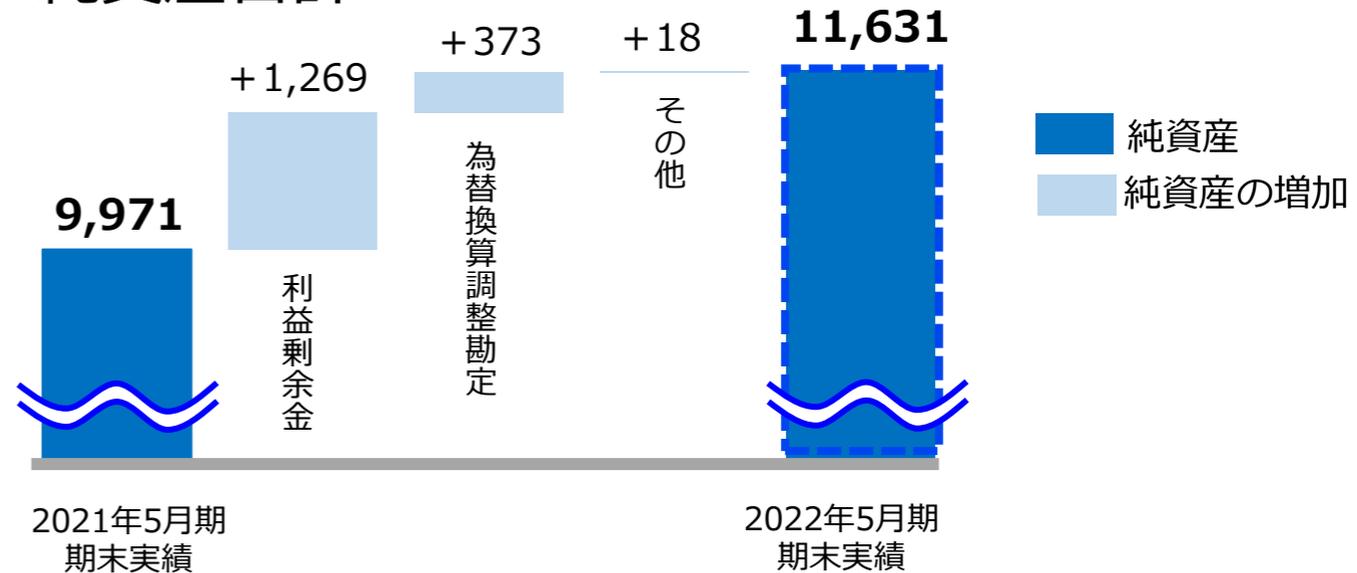
■ 資産合計



■ 負債合計



■ 純資産合計



8. 2022年5月期 キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)

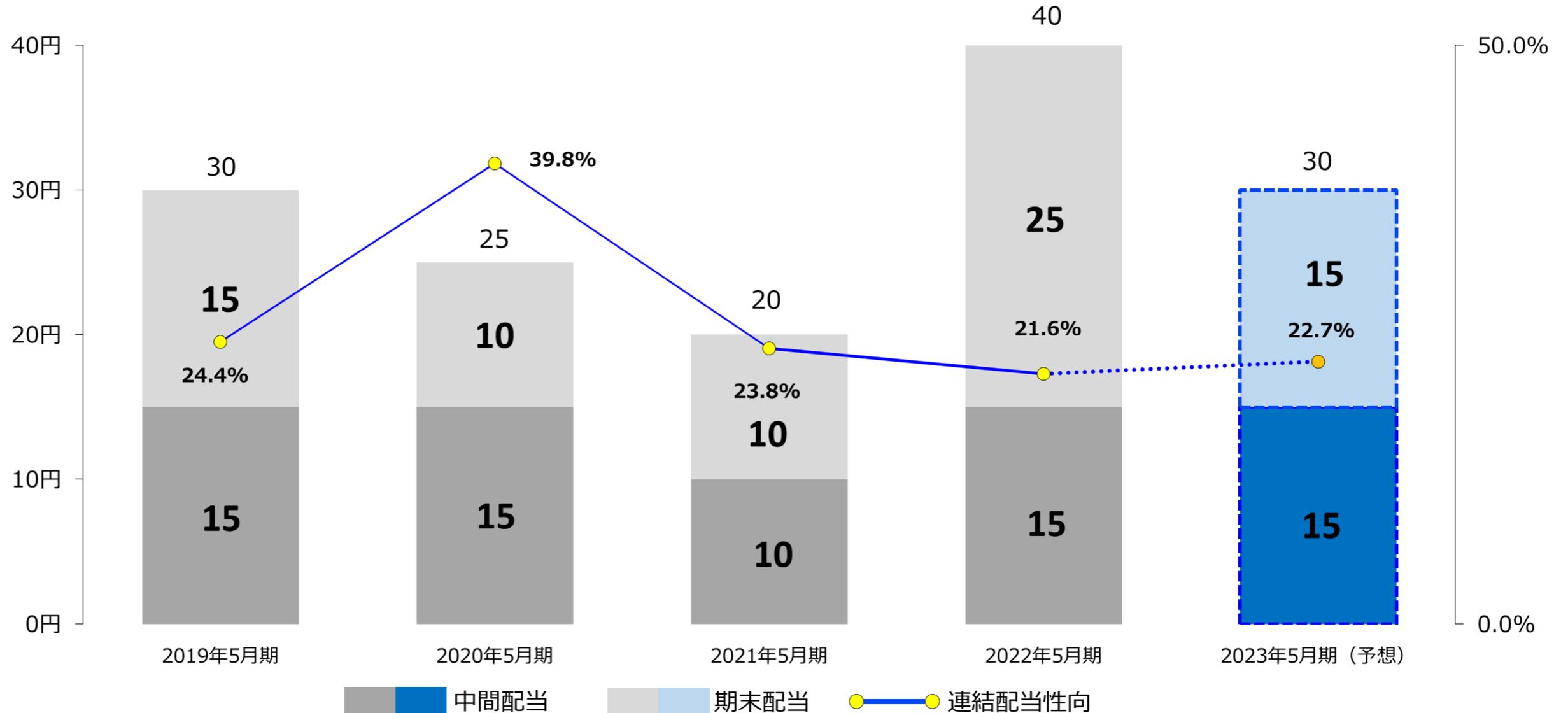
	2021年5月期 決算実績	2022年5月期 決算実績	内 訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	594	△156	税金等調整当期純利益	+2,130
			棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,169
			法人税等の支払額	△443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21	△14	投資有価証券の売却	+68
			有形固定資産の取得	△70
			無形固定資産の取得	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331	805	短期借入金の純増減額（△は減少）	+1,033
現金及び現金同等物の増減額	303	628		
現金及び現金同等物の期末残高	1,969	2,619		

9. 株主の皆様への還元方針

2023年5月期 年間配当 1株につき30円(予定)

(1株あたり配当：円)

(配当性向：%)



※現時点の予定につき、今後さまざまな要因により、異なる結果となる可能性がございます。

10. 2023年5月期予想

- **経済情勢**：新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大、原材料の高騰、地政学的リスクの懸念等で、景気見通しは不透明
- **業界動向**：半導体・電子部品の需給逼迫は継続を見込むも、市況の変化は継続で注視
- **今後の見通し**：自動車の電動化や、民生、産業機器分野での半導体・電子部品、EMSの継続的な需要を見込む
原材料価格の高騰による影響、中期経営計画施策での人材やDX分野等への投資による費用増加を見込む

	2022年5月期		2023年5月期(予想)		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	42,519		42,000		△519	△1.2%
営業利益	2,018	4.7%	1,400	3.3%	△618	△30.6%
経常利益	2,134	5.0%	1,500	3.6%	△634	△29.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,465	3.4%	1,050	2.5%	△415	△28.3%
1株当たり当期純利益(円)	184.86	-	132.21	-	△52.65	-

(単位：百万円)

11. 中期経営計画（2021年度～2023年度）

基盤ビジネスの強化・拡大

- 自動車分野、産業機器分野での取り組み強化
- EMS事業の強化・拡大
- グローバルネットワークの強化
- 協業、M&Aの活用による強化

仕入先との協業強化

- 仕入先と一体となった営業活動
- 国内・海外商材の拡充

新規顧客・新規事業での成長

- 新規顧客の獲得
- 新規市場への参入
- IoT領域での事業拡大
- 社会課題の解決事業への取り組み
- 課題解決型の開発力の強化
- 協業、M&Aによる成長・加速

経営基盤の強化

- ガバナンスの維持・強化
- 健全な財務基盤の維持・向上
- グローバルでの人財育成
- 人事制度と働き方の改革
- 健康経営の推進
- DXの推進
- 品質の維持・強化

中期経営計画目標（2023年度）

売上	営業利益	ROE
500億円	16億円	10%以上 維持・向上

12. トピックス・取組み

新市場区分の選択

東京証券取引所 スタンダード市場
名古屋証券取引所 プレミアム市場に指定



2022年4月4日の証券取引所の新市場区分への移行に伴い、上記市場に移行いたしました。引き続き、ステークホルダーの皆様に魅力を感じて頂けるよう企業価値の向上に努めてまいります。

DXの推進

ミタチ産業グループは様々なデジタル技術を積極的に取り入れる事で、商材の拡充や、業務方法、販売やサービスの方法、プロセスの変革を進めております。



健康経営優良法人 2022認定取得

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人 2022(大規模法人部門)」に昨年に続き認定されました。引き続き従業員の健康保持、増進活動を進めていきます。



ISO9001取得

※登録事業所 三河支店・浜松支店



ミタチ産業株式会社は、カーエレクトロニクス向け等の半導体、電子デバイスおよび電子・電気機器を扱う商社として、お客様の満足を得るビジネスを目指し、品質向上に努めてまいります。

アライアンス活動



「中期経営計画2023」の施策である、基盤ビジネス強化・拡大、新規顧客・新規事業への取組みとし、業務提携先である日邦産業(株)が得意とする「成形品」と、当社が得意とする「実装基板・電子部品」との組合せによるビジネス創出への取組みを進めております。

13. 会社概要及び株式の状況

商号 ミタチ産業株式会社
MITACHI CO., LTD.

創業 1972年9月(創業50年)
設立 1976年7月
本社 〒460-0026
愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号

資本金 8億3,266万750円
従業員 連結440名 ※
単体127名 ※ (※ 2022年5月末時)

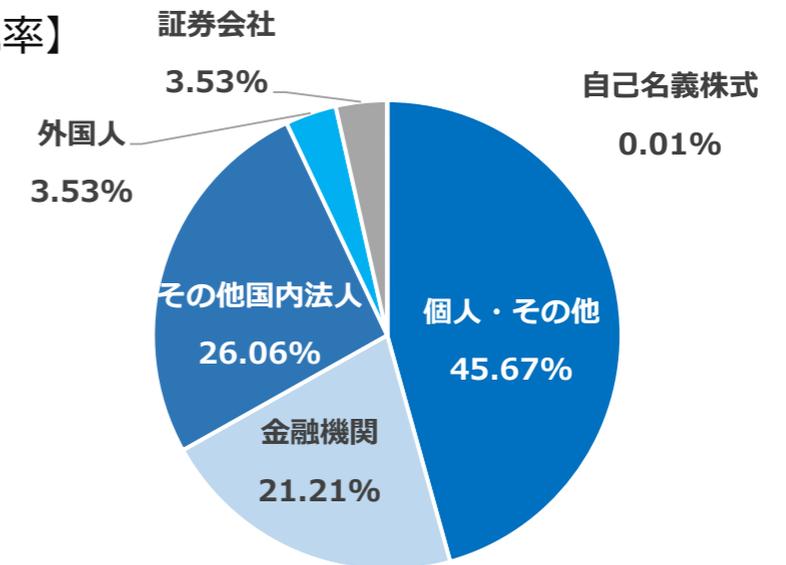
役員 代表取締役社長 橋 和博
常務取締役 奥村浩文
取締役 野村慎一
取締役 田村 学
取締役(常勤監査等委員) 大島卓也
社外取締役(監査等委員) 中浜明光
社外取締役(監査等委員) 松岡正明
社外取締役(監査等委員) 澁谷 歩

【大株主の状況】

2022年5月末時

株主名	持株数(株)	持株比(%)
株式会社J U	1,844,800	23.23%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	861,400	10.85%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	376,900	4.75%
橋 和博	223,400	2.81%
株式会社三菱UFJ銀行	200,000	2.52%
井上 銀二	150,000	1.89%
井上 佐恵子	120,000	1.51%
ミタチ産業従業員持株会	118,723	1.50%
野中 光夫	110,000	1.39%
株式会社大垣共立銀行	100,000	1.26%

【構成比率】



14. 創業50周年

創業記念のロゴマーク

おかげさまで**50**周年



**2022年9月 ミタチ産業株式会社
創業50周年迎えます**

50周年は、私たちの新たな出発点です。

創業50周年記念のロゴマークには、ミタチの社名は三位一体の精神を三本の線で表しており、今までの50年を感謝するとともに、未来へ進むイメージと次の時代へのお出立の想いを込めました。

15. 経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す

企業の社会的貢献

ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、毎期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと

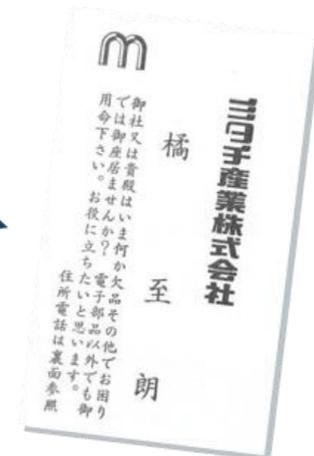
人間尊重

従業員が会社の宝であり財産。お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する

創造的革新

現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、絶え間ない変革を遂げていく

創業当時の
名刺



創業当時の名刺にも記されているとおり、**「お客様が困っていることを解決しよう！」**という熱き思いがミタチの原点です。

16. 「ミタチ」の由来について

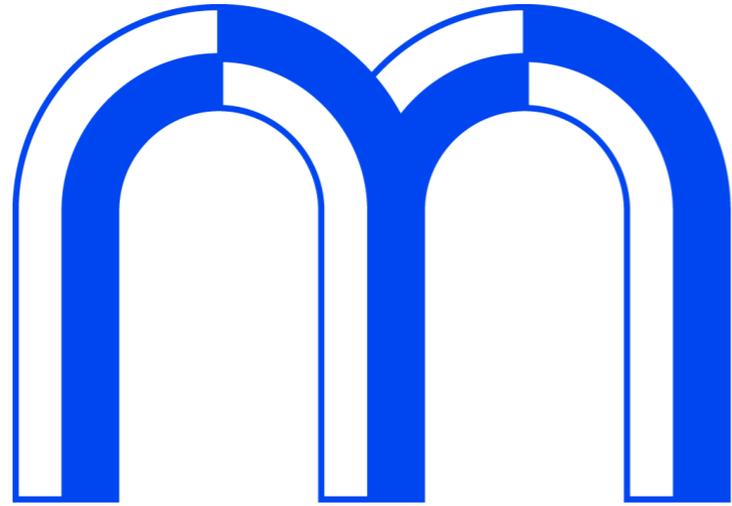
お客様

当社・株主様

仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ（お客様、当社、仕入先様）という三位一体の精神に由来しています。

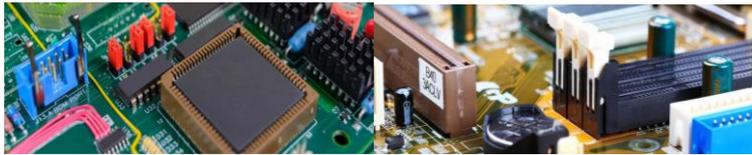
17. 「ミタチ」のシンボルマークについて



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」
2000年の時を超え往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに
当社の社章は生まれました。そこにはいつまでもお客様と仕入先様をつなぐ
架け橋でありたいという思いが込められています。

18. 事業内容

電子デバイス



汎用半導体からメモリ・システムLSI・液晶
電子部品・ユニット基板等の販売
多種多様な商材をワンストップで提供

製造設備機器



表面実装機・印刷機・リフロー槽をはじめとする
電子部品実装ライン、検査機、専用自動機、
各工場環境機器、消耗材や副資材等の販売

EMS



国内、海外を問わず基板のアッセンブリから
ユニット、製品の組み立てまで対応
EMS : Electronic manufacturing service 電子機器受託製造サービス

組込製品



海外CPUボード、パネルユニットを数多く取扱い、
標準品、カスタム仕様の対応が可能

設計開発



回路設計から筐体設計、ソフトウェア設計、製品
デザインまで、商品開発における設計業務に対応

IoT

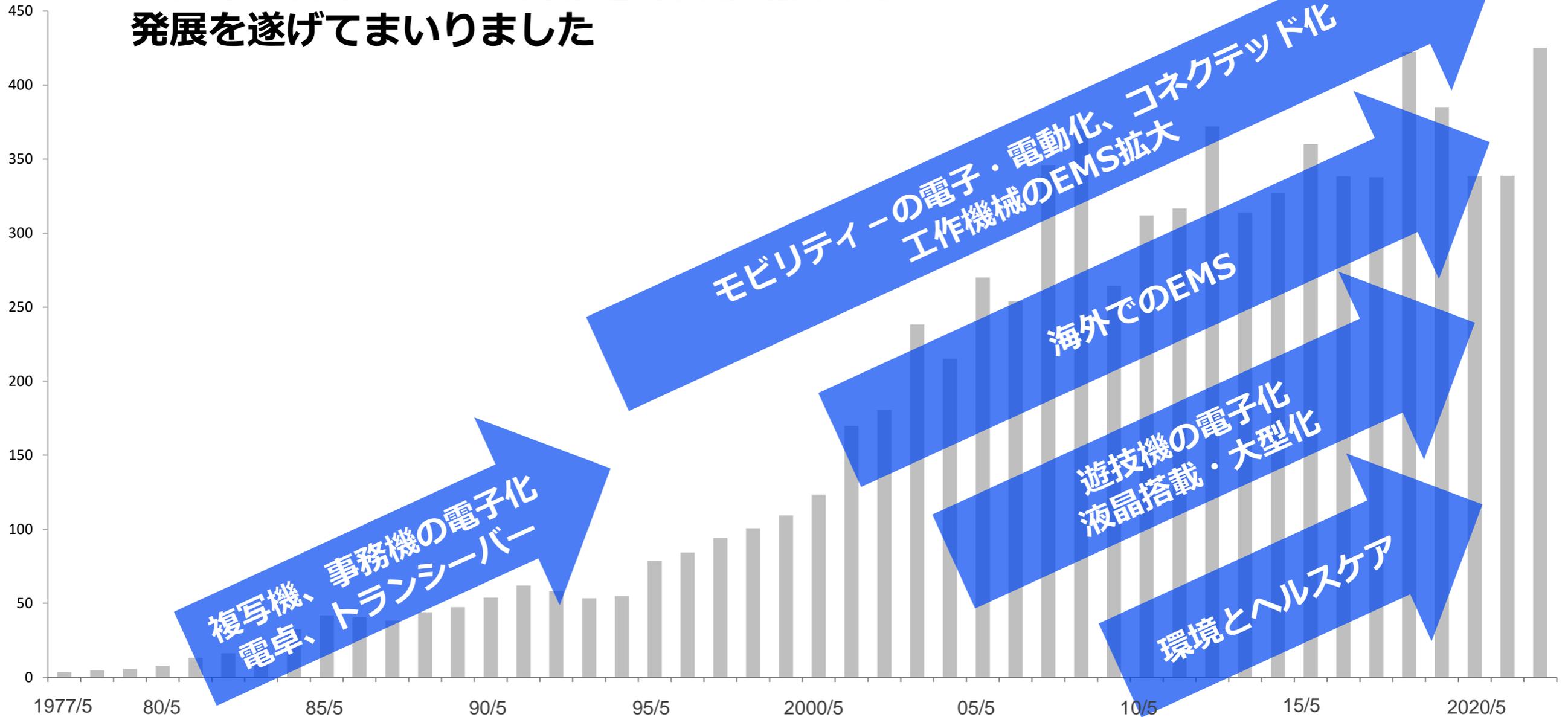


自社オリジナルのIoTプラットフォーム
miotシリーズで様々なお客様の
問題解決を致します

19. 事業の変遷および業績推移

(売上高：億円)

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、
発展を遂げてまいりました



20. 拠点



- 海外
- ・美達奇 (香港) 有限公司
- ・敏拓吉電子 (上海) 有限公司
- ・美達奇電子 (深圳) 有限公司
- ・台湾美達旗股份有限公司
- ・MITACHI (THAILAND) CO.,LTD.
- ・PT. MITACHI INDONESIA
- ・M.A. TECHNOLOGY, INC.
- ・MITACHI INTERNATIONAL (MALAYSIA) SDN. BHD.

国内拠点数 : 8 拠点
海外拠点数 : 8 拠点

21. ミタチ産業のCSR

ミタチグループのSDGs

従業員の能力
開発を通し、社
会貢献を果たす
人材の育成への
取り組み

男性も女性も
平等に、子育て
や介護などの
事情にあわせ働
きがいある職場
を目指します

省電力電子部品
LED照明やエコ
床暖房の販売で
環境負荷低減に
貢献

在庫の適正化で
廃棄物のロスの
最小化を目指し
ていきます

健康経営の推進、
エコキャップ運
動などへの参加、
セーフティ運
転の全社啓蒙を
実施



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社グループは経営理念であります、顧客第一主義、人間尊重、一流へのチャレンジ、創造的革新、企業の社会貢献をもとに、グループの各社、各人が時代や地域を超え価値観や倫理観を共有し連携を図ることで、持続的な成長を続けてまいります。

近年、ESGの観点から長期的な企業成長にとって重要性を増しており、ミタチ産業グループにおいても、ESGの視点に立ちCSR活動を推進し、持続可能な成長を支える基盤づくりを進めてまいります。今後は国際社会の共通目標でありますSDGs(Sustainable Development Goals)を意識し、社会課題に対し貢献していける企業グループを目指してまいります。

22. 2022年5月期 決算説明動画

視聴URL

<https://www.youtube.com/watch?v=JFGDcnjpdZM>



※本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。

決算資料

IR資料室

ホームページ

お問い合わせに関する窓口



 **三ツ子産業株式会社**

経営企画室

TEL : 052-332-2596

HP : <https://www.mitachi.co.jp>